



リレー随想

懐古

光製薬株式会社
代表取締役社長 高橋 維朗

現在の当社の住所表示は東京都台東区今戸二丁目11番15号であります。

この住所表示は、昭和39年7月の住居表示改正により制定されたものであります。最近では携帯電話の地図ソフトがありますので目的地までの道のりで迷うことはありませんが、以前は遠方からご来社頂く方から、最寄りの駅は？ 台東区今戸？と問い合わせが多くありました。その住居表示改正以前は、東京都台東区浅草今戸町二丁目5番地という住所でありました。冠称に浅草とありましたので、おおよそ浅草界隈に居を構えていることがわかる表示でした。

近隣には、「浅草聖天町(現 浅草六丁目)」、「浅草吉野町(現 今戸)」、「浅草猿若町(現 浅草六丁目)」など歴史的に由緒ある地名が多くあります。浅草聖天町には、地名の由来になっています「待乳山聖天(マツヤマ ショウテン)」があります。正式名称は本龍院といい、ご本尊は十一面観音菩薩を本地仏とする聖天様です。

こちらの聖天様は、毎年1月7日に「大根祭り」というお祭りがあり、元旦以来ご本尊様にお供えされた大根を風呂吹きに調理し、御神酒と共に参詣者に提供します。

この聖天様の紋章の巾着と二股大根は、それぞれ商売繁盛、無病息災、夫婦和合、子孫繁栄の功德があるとされているようです。創建は飛鳥時代の595年(推古3年)といえますから、628年(推古36年)創建の浅草の観音様(金龍山 浅草寺)より古いお寺です。話しを戻しますが、この住居表示改正制度は、浅草に限らず都内23区部で実施されました。当然、千代田区、中央区も改正の対象ですが、住民から「歴史のある町名を変えることに反対」との運動が起こり、従来の住居表示が残ったと聞いております。そのおかげで「日本橋人形町」、「日本橋室町」、「日本橋小舟町」、「神田紺屋町」、「神田鍛冶町」等の冠称のついた素晴らしい町名が今も生き続けています。

当然、昭和39年の住居表示改正前には行政から種々の説明があったかと思いますが、浅草地区も旧住居表示存続の運動をしていましたら伝統ある旧町名を残せたのでは



ないかと残念に思います。この住居表示が改正された昭和39年という年は、東京オリンピックが10月10日に開催された年でもあります。

オリンピック開催の数年前から競技施設や付帯設備の建設が急ピッチで進められ、都内の首都高速道路もこの時期に建設されており日本の道標の中心である日本橋の橋の上に高速道路が建設され、昭和38年に開業しております。高速道路を日本橋の橋の真上に作るようになった経緯は知る由もありませんがいかに建設期間短縮、建設費用低減等の目的がありましても伝統ある文化財の景観を犠牲にしたことは非常に残念に思います。

先日、日本橋の上を走る高速道路を撤去し、新たに地下に高速道路を建築するという記事を見ましたが、是非実現してもらいたいと思います。50数年ぶりに青空の下で日本橋を見ることができるよう願っております。

伝統ある町の名前に触れ、歴史を感じることができる文化財を見て昔を懐かしむことができる時間が何よりの楽しみです。